

トレンシア(ナツスマイレ)  
一年草 開花期四、十月



例会日：水曜日  
第1・第2 夜間・18:30～  
第3・第4・第5 昼間・12:30～  
例会場：華月殿 和歌山市屋形町2-10  
事務局：〒640-8215 和歌山市橋下23  
サイバーリンクス N-4ビル 2階  
TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200  
http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html  
E-mail: a-rotary@coral.cypress.ne.jp  
会長：辻本圭三 幹事：土屋一博  
クラブ会報委員長：籠田 弘 副委員長：和田 薫

本日の例会  
10月6日(水)  
18:30～華月殿

ロータリーソング：君が代・われ等和歌山東南ロータリー  
行事：クラブフォーラム職業奉仕委員会  
「四つのテスト」の解釈について。  
RI 第 2640 地区職業奉仕副委員長  
辻林俊彦様

次回の例会  
10月15日(金)  
18:30～

行事：和歌山南RC  
との合同例会  
グアイロイネットホテル和歌山4F

先週例会報告

ゲスト：地区青少年・ライラ委員長 丸山信仁様(御坊RC)、ピッチャー：津RC：本弘路可様

会場監督 松浦 薫

会長挨拶

辻本圭三 会長



昨日、木潮会との懇親会があり、出席して参りました。木潮会とは、報道機関と市内のロータリークラブが参集し、情報を提供する場です。6年前から始まり、毎年1回開催されているとのことでもあります。

昨日の会合には、マスコミ10社より支局長などが参加されまして、食事をしながら、いろいろな話が出ていた様子であり、各テーブルは、それぞれ盛り上がっていました。

市内10ロータリークラブの代表者が、取材・報道を希望する内容について、3分程度説明をし、マスコミ関係者との間で質疑応答を致しました。和歌山南ロータリークラブには、マスコミ3社の代表が会員として加入されておられる関係で、活動の報道が比較的スムーズにされていますが、それ以外のクラブはマスコミを有効活用していないように思われます。この点について、マスコミ幹事社である読売新聞支局長の西田様より、どのような情報でもお知らせいただければとのノウハウをお聞きしましたので、我がロータリークラブの今後のマスコミ活用に役立てたいと考えています。

次に、青木会員の件ですが、病状は日増しに軽快しているご様子ですので、ご心配なされないようお願いいたします。

ニコニコ箱

和田達男会計

RI 第 2640 地区 青少年・ライラ委員長 丸山信仁様・本日卓話をさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。辻本君・丸山様、本日の卓話よろしくお願い申し上げます。片畑君・お久しぶりでございます。松浦君・丸山地区青少年・ライラ委員長、本日の卓話よろしくお願い致します。

幹事報告

土屋一博 幹事



○10月15日(金)に和歌山南RC様との合同例会となっております。アトラクションとして、アゼリアバンド様が来られるそうです。

○10月2日(土)IM3組です。竹中会員が「東南RCの最近の奉仕活動について」の発表をしていただくことになっております。皆様のご出席、よろしくお願い致します。

東南育英会

和田達男会計

南君・青少年・ライラ委員長 丸山信仁様、本日はライラセミナーについての卓話、よろしくお願い致します。

40周年記念BOX

和田達男会計

辻本君・40周年委員長様、ご苦労様です。坂口君・駒阪君・釜中様、中板様、先日はお世話になりました。

○10月 職業奉仕月間 (Vocational Service Month)

RI 理事会では、一人ひとりのロータリアンだけでなく、クラブも職業奉仕の理想を日常実践するよう強調するために、特に職業奉仕に焦点を絞ったプログラムを行うよう、奨励しています。クラブに推奨される具体的活動には、①地区レベルの行事で、ロータリーボランティアを表彰すること、②ロータリー親睦活動への参加を推進すること、③職業奉仕活動またはプロジェクトを提唱すること、④空席の職業分類に会員を入室させる会員増強活動、があります。

○10月 米山月間 (Yoneyama Month)

日本独自の強調月間です。クラブはこの月に特に米山奨学事業の意義を深く認識し、寄付金を募る活動をします。そのために米山記念奨学生や地区役員・委員の卓話を聞いたり、さらに奨学生から提供される資料を基にクラブ・フォーラムを開催したりすることが推奨されています。奨学会の目的及び事業・寄付及び表彰制度・奨学生の資格などは米山記念奨学会ホームページを参照ください。



	ニコニコ	米山奨学金	ロータリー財団	東南育英会	40周年記念BOX
累計	658,300	10,000	133,000	16,000	348,000

出席報告	出席者	出席率
会員総数	50名	9/29 33名 68.75%
出席免除会員	3名	9/15 41名 85.42%

自己紹介

1986～1987 中島治一郎 PS 御坊 RC 入会 RC では NO と言うな  
三軒ガバナーの時の職業奉仕委員長桃田時、クラブの職業奉仕委員長の役で地区協議会に参加したとき 桃田職業奉仕委員長一言質問を致しました。その後今期職業奉仕の地区委員なりなさいとお誘いを頂きました。

参加者に質問

あなたは今までに青少年育成に携わったことがありますか  
あなたのクラブは青少年奉仕プロジェクトを何か行っていますか  
ライラとは！

ロータリー青少年指導者養成プログラム

R Y L A → Rotary Youth Leadership Awards

地域社会の若い人々の指導者や善良な市民としての資質を伸ばすことを目的としたプログラム

14才から30才までの若い人の為のプログラムで。(当地区ではインターアクトが中学生から高校生までを対象としてる為留学生を除いて13才から30才までの人が対象です)

ライラセミナーに取組む為の7つの主題があります

1. リーダーシップの基本
2. 良きリーダーシップの倫理
3. 効果的リーダーシップにおけるコミュニケーション・スキルの重要性
4. 問題解決と対立管理
5. ロータリーとは何か ロータリーは地域社会のために何を行っているか
6. 自信と自尊心の育成
7. 地域社会と国際社会の一員としての要素

あります。

ライラの歴史について説明致します。

ライラが誕生したのは、1959年オーストラリアのクイーンズランド州が自治権獲得100周年を祝う為に英国の女王(アレクサンドラ女王)をお呼びした時に、女王と同年代の青少年達を招いて記念式典に参加させ、女王に会わせました。ブリスベンロータリークラブが全オーストラリアから集まった若者達のお世話をしましたが、彼らが大変素晴らしい人達で会ったことからロータリアン達はこの催しを毎年行う事を決め、各クラブから2名ずつの青少年を選んでブリスベンに招待し、1週間文化・社会・教育などのプログラムに参加させることにしました。これがセミナー方式のR Y L Aの始まりです。又もう一方、アメリカでは1949年頃から、カリフォルニア・ミシガン・ペンシルバニアの各州で数地区の男子高校生を集めて指導者キャンプというものを開発しました。

参加者が指導能力を得る機会・場所を得て、自分の指導技術を磨くというプログラムです。これが教育的レクリエーション活動による、指導者キャンプ方式のR Y L Aの始まりです。

ロータリークラブが長期的に青少年育成の為に、提唱し組織している団体にインターアクトクラブ・ローターアクトクラブがあります。

ライラセミナーは、

1971年 国際ロータリーでライラセミナーが正式に採用されました。

1974年3月にアメリカ ワシントン州 タコマで開催したのが国際ロータリーとして最初のライラセミナーです。

1976年6月に日本初 第366地区(第264地区を含む)大阪府の能勢町、大阪府立青少年野外活動センターにて 山のライラ開催したのが最初です。これは、1973～1974年度366地区ガバナー高槻ロータリークラブ 田宮 佐(たすく) が大変熱心に青少年奉仕に取り組んでおられたためです。

2640地区のライラの歴史を説明します。

第2640地区の取組み

1回 1982～1983 小中義美ガバナー 青少年サービス委員会 鎌田富士夫 和歌山東RC

当地区での目的は

1. 人前で堂々と話しや表現ができる人作り(伝達力、表現力)
2. 講演の開催し (知識、教養の強化)
3. 長時間のディスカッション (想像力、思考力、選択力の強化)
4. 自然とふれあいながらの体験プログラムの開催(やさしさ、友人づくり)
5. IM単位の地域文化との交流プログラム
6. コミュニケーションプログラム 異年齢による共同生活体験

ライラセミナーではチームを作り、チームの中における自分の存在感を示し、与えられた討論テーマに対して自分の考えをどう表現し、反映させるかを体験させ、討論・研修を通して研修メンバーのリーダーシップを引出す事、そして チームワークを自然形成させるリーダーが現れ、「役割分担を指導する能力」が発揮される事を期待しています。討論テーマに対して全員で発表します。又閉校式前には感想文を作成し、1分間でセミナーの感想を発表する訓練を行います。

私が委員長の時メインテーマは「人生の目標」です。このテーマに決めたのは私の経験から決めさせて頂きました。少しその経験(自慢になりますが)を話しさせて頂きます。

ソフトテニスの指導

平成5年から地域の公民館の運営を任せられた時からです。小学生に日本の国技とも言えるソフトテニス(軟式庭球)を指導し始めました。和歌山にはLCとゆう素晴らしいクラブがあり、指導者も素晴らしい川並・雑賀先生がおられます。また周りチームの指導者も学生時代素晴らしい戦績の持った方々ばかりでしたが、私もスタッフも高校・中学とソフトテニスをやった程度でした。後輩や先輩達が私に色々教えて下さり、私なりに考え、それを子供達に伝えるようにしました。この時に子供たちに大きな目標(全国制覇)を掲げることが大切であると気づきました。結果として子供達は小学生の時に全国制覇は出来なくても、インターハイ優勝・中学生の都道府県対抗大会で優勝 日本の最高峰 天皇賜杯で優勝など色々な大会で優秀な成績を上げてくれました。現在もゆかわ Jr ソフトテニスクラブの卒業生として社会で又大学で活躍してくれております。この経験で「人生の目標」を研修生に持っていただくことが大切であると考えました。今、私の所属する御坊ロータリークラブのご支援でソフトテニス大会に協賛して頂き青少年育成に協力を頂いています。又ローターアクトのメンバーとともに社会奉仕・クラブ奉仕・新世代部門(青少年奉仕)に共同をしながら活動を行っております。



前年の村上年度のライラセミナーを少しご紹介します。

第29回ライラセミナーは長年使用した大阪青少年海洋センターから離れ、田辺市元町目良 元島館で開催致します。日程も、3月20日21日22日の3日間と変更し、ローターアクト・インターアクト・財団・米山の新世代交流会も兼ねて、研修生を募集致した。本年度のメインテーマを「人生の目標」とし、研修テーマを「人生を楽しむ為のマナー」サブテーマを「田辺の風土に親しもう」です。

1日目は「しつけ(マナー)」を考え、自衛隊の協力を得て、自衛隊の基本教練(きおつけ、礼、集合、行進)ロープワーク・手旗を勉強しました。又、参加ロータリアンは中島治一郎バスターガバナーの講演「ロータリーと青少年」のテーマで勉強して頂き、特別企画として、田辺の味を御賞味頂きながら、青少年問題についてディスカッションを行いました。

2日目の研修プログラムは田辺の風土・歴史を勉強。關鷄神社の朝市「弁慶市」の各ブースで販売の手伝い、田辺の方とのふれあいを行いました。午後からは田辺市内の探訪地元住民との交流図りました。そして研修会場の元島館に帰着後、各グループに分かれ夕食のカレーづくり競いました。

3日目はナショナルトラストで守った天神崎の自然を勉強させ又、実社会での挨拶や言葉遣いなどビジネスマナーを勉強し、社会人としての常識を学びました。

**自衛隊の基本教練・討論会発表・カレー作り・ふれあい体験発表・1分間スピーチ等全てに於いて競いました。事前に班長を決めなくても徐々にリーダーシップを発揮する研修生を中心に自然にまとまり取れてきました。**

米田ガバナーの意向で高野山の地で開催するように指示を頂きました

今年度は国際ロータリーの新世代部門(青少年奉仕プロジェクト)が5大奉仕部門に加わりました。このことから私は青少年奉仕プロジェクトの取り組み方を改めて、考える次期だと考えています。

今年度のライラセミナーは第30回の節目の年になります。メインテーマは「人生の目標」です。サブテーマは「宗教環境都市で癒されよう」と決定致しました。

会長・幹事様には地区大会11月6日(土)勉強会で、ライラセミナーの重要性を理解して頂き積極的に青少年奉仕プロジェクトの取り組みをお願いしたと計画しています。

昨年と同様にオリエンテーションの時、目標設定用紙を配布し記入して頂きます。記入した用紙はセミナー生を推薦して頂いたクラブに送ります。事業主・顧問の先生を通じてご父兄にお渡し下さい。

今年のライラセミナーは前年度まで2泊3日を1泊2日で行います。少なくなった1日分は11月7日地区大会2日目でロータリアンに理解を深めていただくためPRコーナーで、昨年のライラセミナーの様子を展示致します。また、ライラセミナー研修生には、ロータリーを理解していただくために、ライラセミナーのPRゾーンで国際ライラセミナーの説明を国際ライラアドバイザー 松下篤史(まつした あつし) 日本航空株式会社 767副操縦士に講演を依頼しています。研修生には国際ライラ・セミナーを理解し 勉強して頂きます。又携帯電話のマナー教室をソフトバンク株式会社に依頼しています。抹茶のいただき方も、学んで頂きます。1泊2日のライラセミナーは2011年3月5日(土)6日(日)2日間、高野山 恵光院で開催致します。

昨年と同様にインターアクト・ローターアクト・青少年交換委員会と合同の新世代交流会も兼ねて行います。又今期初めての取り組みで、社会奉仕委員会と連携し「ロータリー100年の森」での植樹や社会奉仕の取り組み方を勉強して頂きます。(阿字観・法話)(写経) 夕食後宗教体験と自然について グループディスカッションを行います。

2日目はウオークラリー 感想文作成 午後からは火祭りを見学(祭とごま法要年に1回) 1分間スピーチを行います。すべて8名程度の班編制で行います。グループの中で必ずリーダーシップを発揮する者が現れることを期待しています。今年度初めての取り組みで、メイン事業ですが、国際ライラセミナー(国際大会前日6月17日から19日まで開催予定)に、2名を参加して頂き地区ないでの若き指導者を育成したいと考えています。

国際ライラセミナーに派遣する研修生選考基準

1. 地区青少年ライラ委員会の主催するライラセミナーに全て参加すること
  - \*11月7日(日) 地区大会における1日ライラに参加
  - \*3月5日(土)6日(日) 高野山ライラセミナーに参加
2. 2640地区内の居住者であり、心身ともに健康な状態であること
3. 指導者としての資質があり、向上心があり、奉仕を理解する積極的な若者
4. **自分の考えをまとめ、積極的に発言し、表現力、伝達力が豊かな若者で、帰国後レポートをまとめ提出することが出来る方**
5. **渡航するに当たって家族の理解と承諾が得られる方**
6. **多少の英会話が可能な方**
7. ロータリー活動を理解している方 です。

RYLAセミナー生の候補者として最も有望なのは下記の資格(すべてあるいは一部)を満たしている人

1. リーダーとしての経験・あるいは素質
2. 強調性およびグループに参加する意欲
3. 優れたコミュニケーション(意思伝達)能力
4. 学業や職場における好成績
5. 新しく学んだスキルを他者の為に生かそうとする意欲
6. 社会奉仕への献身が実証されていること

このような方をご紹介します。と他のクラブでお願いしたらこれに該当する青少年でしたらセミナーに参加しなくとの良いのではと言われました。単なる(野外キャンプの指導者)指導者を育てるものではありません。私たちは指導者の中の指導者を育てるのが最終目的です。ご理解をお願い致します。

新たな活力とアイデアがもたらされ、社会奉仕プロジェクトへの支援が増えるとともに、将来のロータリアンを育成できる恩恵があります。

**研修に参加して頂ける方には仏教の事を経験して頂きますが信仰を強要する事では無いことを理解して頂けるよう説明をお願いします。**

登録時のお願いです。から登録 セミナーの参加者が連絡無しで当日欠席・ロータリアン 登録をして参加しない。食事の無駄 宿泊者数を把握しにくい

## IDM発表① テーマ「40周年記念式典に向けて」

○式典での催し物(アトラクション)(あまり金額のかからない様に) ○交通アクセスに関する再確認

- A班 リーダー 山田さち子 サブリーダー 山口幸也 日時・場所：9月17日(金)18:30~ ととや  
出席者：有本・赤在・竹中・中曾・松浦・山田(さ)会員
- 案 第1. 先生・古川会員・山田(さ)会員 三味線 (3人OK)  
第2. 市川会員 詩吟をお願いします。  
第3. 有本会員 シャンソン (本人様OK)  
第4. 奥様方 (女性のみのコーラス・童謡)

- B班 リーダー 和田 薫 サブリーダー 溝落和作 日時・場所：9月24日(金)18:30~、かに畔 参加者：5名  
35周年のスライドを觀賞しながら、宴会のアトラクションについて話し合い、以下の4つにまとまりました。
- ①チャーターメンバー皆出席の表彰
  - ②自衛隊の吹奏楽 (女性入りで)
  - ③マジック (アシスタントにレオタード姿の女性付きで)
  - ④かくし芸 シャンソン 有本会員・南会員、バイオリン 中谷敬子会員、  
ギター 鯨会員・内藤会員、ピアノ 竹中会員・赤在会員
- 最後に全員出席 (夫婦同伴で) ということで、話も盛り上がり終了しました。

- C班 リーダー 向井久純 サブリーダー 和田達男 日時・場所：9月21日(火)18:30~、秀よし  
当日出席者：向井・和田 (達)・内藤・辻本・谷口・市川会員、メイクアップ出席：保田会員
1. 催し物のタイムスケジュールは、お酒を飲む前にしたほうがざわつかないで良いのではないかと。
  2. 海外からのお客さんも来られるので、日本の伝統芸能的な物が良いのではないかと。
  3. 10~20分程度の催し物を2~3つ程度で良いのではないかと。
  4. 開催地の地元における伝統芸能など行っている団体を調べて出演交渉をしてみる。  
(但し、プロ集団でない団体)  
方法として、①地元ロータリークラブに情報を求める。  
②地元県庁及び市町村役場に情報を求める。  
③インターネットで調べる。
  5. 地元商工会などとタイアップして、利き酒会をする。(地酒・地ワイン・地ビール等)  
(小規模屋台でも面白いのではないかと)
  6. 子供の参加が見込まれるのであれば、化学のおもしろ実験の「サイエンスショー&実験教室」の米村でんじろう先生を招く。
  7. ニューハーフのトークショーを行う。(メンバーも加わって)
  8. 芸人 (落語家や漫才など) を招く。
- 以上の意見ができました。

- D班 リーダー 中谷敬子 サブリーダー 郷間博敏 日時・場所：9月24日(金)18:30~、かに畔 参加者：5名  
D班はB班と合同で、田中町「かに畔」でIDMを行いました。津川40周年記念事業副委員長が35周年の記念DVDを持って来て下さり、郷間会員の技術で美しい画面をみせて頂き、記念行事を体験したこのない会員には楽しいひとときでした。40周年記念事業の余興としては、予算の関係で、出来るだけ自分達でやってみようという意見もにぎやかに出ました。シャンソンあり、楽器演奏あり、詩吟あり…、しかし、最終結論としては素人でなく、格調高いプロの方をお願いしたほうがよいのではという意見もできました。

- E班 リーダー 古川多津美 サブリーダー 土屋一博 日時：9月17日(金)13:00~  
場所：知的障害者通所授産施設 マウンテンラブ 会議室 出席者：籠田・早田・土屋・古川会員、メイクアップ 山田(剛)・神谷会員
- 「40周年記念式典に向けて」 式典での催し物(アトラクション)  
あまり金額のかからない様にとの事なので、山田さち子会員と古川会員の2名でと思いましたが、自身がありません。三味線の音合わせもありますので、先生に来ていただきますが、費用は要りません。三味線と民謡で20分位を予定しています。出し物は津軽じょんがら、天竜下れば、久保田節、他、ロータリー会員全員で花笠音頭
- 交通アクセスに関する再確認  
エキシブ山中湖に変更。東京都内の移動をどうするか？ 山中湖までの移動をどうするか？
- その他 古川会員のマウンテンラブのブルーベリーについて説明させていただき、お買い上げいただきました。  
ありがとうございました。

- F班 リーダー 青木良平 サブリーダー 坂口和男 日時・場所：9月17日(金)18:30~、ととや 参加者：8名中8名
- ・式典での催し物 (アトラクション) あまり金額のかからない様に
- 1) 会員の方で三味線、詩吟をされる方がおられるとのこと。  
三味線 (古川さん、山田さん、二人の先生) 詩吟 (市川さん)  
アトラクションとしてお願いしてはいかがですかと意見ができました。
  - 2) 姉妹友好各クラブの方々に、なにか催し物をお願いしてはいかがですか (F班皆様の意見)
- ・交通アクセスに関する再確認 (交通の便)
- 1) F班皆様の意見としましては、和歌山駅より新大阪駅まではJR特急、新大阪より到着駅までは新幹線を利用し到着駅より目的地まではバスの利用で話がまとまりました。